

(1) ねらい 地面の上を流れる水の量が多い時と少ない時との土地の変化の様子を比較する活動を通して、流れる水の量が多くなると流れる水の働きが大きくなることに気づき、大雨などによって川が増水した時に川の地形が大きく変わることを捉えることができる。

(2) 評価規準 水の量を変えたときの流れる水のはたらきと土地の変化について、観察や実験などを行い、得られた結果をもとに考察し、表現するなどして問題解決をしている。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開 (7/11)

過程	学習活動	指導・援助(留意点)											
導入	1 前時の学習内容を確認し、本時の見通しをもつ。 ・問題「土地の様子が大きく変わったのはなぜだろうか。」 ・仮説「川を流れる水の量が増えた時に、流れる水のはたらきが大きくなり、川の地形が大きく変わったのではないか。」 ・実験内容 流れる水の量と土地の様子の変化との関係性を調べる実験	・児童用 ICT 端末は各自準備しておく。  【ICT活用の工夫】 ・前時に実験の様子を各自の ICT 端末で録画撮影しておき、視聴することができるようにしておく。											
	<p>問題 土地の様子が大きく変わったのはなぜだろうか。</p> <p>2 実験を見る視点を明らかにし、結果を確認する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水の量</th> <th>多い</th> <th>少ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流れの速さ</td> <td>速い</td> <td>遅い</td> </tr> <tr> <td>土のけずられ方(しん食)</td> <td>大きい</td> <td>小さい</td> </tr> <tr> <td>運ばれる土の量(運ぱん)</td> <td>多い</td> <td>少ない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・流れる水の量が多いと流れが速くなる。 ・流れが速いと、土がけずられたり、運ばれる土の量が多くなったりする。</p>	水の量	多い	少ない	流れの速さ	速い	遅い	土のけずられ方(しん食)	大きい	小さい	運ばれる土の量(運ぱん)	多い	少ない
水の量	多い	少ない											
流れの速さ	速い	遅い											
土のけずられ方(しん食)	大きい	小さい											
運ばれる土の量(運ぱん)	多い	少ない											
展開	3 考察する。 ・水の流れが速くなることで、流れる水のはたらきが大きくなり、しん食や運ぱんの作用が大きくなる。 ・長雨や集中豪雨の時に川に流れる水の量が増え、土地の様子がしん食や運ぱんによって大きく変化する。	・考察をする際のヒントとして、書き出しや使用するとよい語句等を電子黒板に示しておく。											
	4 考察を交流し、まとめる。 大雨などによって川を流れる水の量が多くなることで、水の流れが速くなり、流れる水のはたらきが大きくなるため、土地の様子が大きく変わることがある。	・考察の交流の際に、自分の実験動画を提示しながら説明する。											
	5 日常生活や社会との関連を図る。 ・校区を流れる川の様子や、集中豪雨によって河川の水位が上昇している様子を知る。	・実際の川の写真等を電子黒板で示す。											
終末													